

学校だより



戸塚小だより

川口市立戸塚小学校
令和6年6月3日
電話048(295)1810
児童数 695名

笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来へはばたけ戸塚っ子



人生の課題になっています



校長 林 奈緒美

三月末、新年度の教職員の異動が新聞報道されます。この春、そこに懐かしい名前を見つけ大変驚きました。かつて担任したK君です。K君とは、卒業式を最後に一度も会うことのないまま、20年以上の月日が流れています。すでに就職してだいぶ経つ頃。同職に就いた話は耳にしておらず、同姓同名？あり得ないことはないけれど…。

振り返ると、学級担任として過ごした日々は、たくさん子どもたちから優しさを貰い、保護者の方々に温かく支えていただいた日々でした。K君が在籍していた6年生の学級は特にです。K君は進んで前に出るタイプではありませんが、友人からの信頼が厚く、自然とクラスを中心になってしまう子でした。誰に対しても優しく気遣いができ、大勢で遊び、この子には人に対する苦手や嫌いの感情がないのかと不思議に思うことさえありました。人に気を遣いすぎ遠慮してしまうところがあり、もっと自分の力を出してほしいと勝手に願ったものです。もちろん、K君一人でクラスが成り立つわけではありません。学級集団は、一人一人に他者を気遣い、力を合わせようとする気持ちがなければまとまりません。中心的な役割を担った誰かを、他のたくさんの人たちがみんな支えることが不可欠です。優しいリーダーと優しいフォロワーがいる。リーダーを担う誰かは場面によって変わる、フォロワーがリーダーになり、リーダーもまたフォロワーになる。今思い返しても、子どもたちはみんな、リーダー役もフォロワー役もしっかりと務めてくれていました。

そんな子どもたちでも、トラブルが生じることはあります。複雑な思いを抱え始める高学年、平穏な毎日ばかりとはいきません。保護者の方々は、横の繋がりを大切にされ、「子ども同士の争いはお互い様だから」と家庭で連絡を取り合い、子どもたちを見守ってくださいました。「先生、ごめんね、心配させて〜！」私が双方の家庭に連絡を入れると、すでに事情を知った親御さん同士が一緒にいて、和やかにお茶飲み話をされていたこともありました。こんな保護者の方々の支えが土台にあったから、優しい子どもたちに恵まれて、その年、私は学級・授業作りに専念できたのだと思います。

さて、現在のK君は、教職とは全く別の仕事について10年。新聞に掲載されたのは、同姓同名の別人であることが判明しました。K君が卒業の日にくれた連絡先に、思い切ってメールを入れると、K君はすぐに返信をくれました。当時を懐かしみ、近況を伝えてくれました。—「先生から『K君を見ていると歯痒い』と言われたことがあり、ここまで生きてきて、まさに言われた通り人生の課題になっています」—。なんてこと！懸命だったとはいえ、子ども相手にそんなド直球を投げているなんて。今なら少しは変化球で対応できるでしょうか…。K君、私にも人生の課題はいっぱいです。